



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝  
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/51名 出席率/68.00%

メークアップ/24名 修正/75名 修正後率/100%

## 会長挨拶 吉田 和義 会長



昨日インターアクト交流会で喜多方へ行って参りました。後程 成蹊高校 IAC 部員より報告しますので楽しみにお待ちください。

さて植村直己、ご存知の方いらっしゃいますか？私がずっとあこがれてきた人です。

世界初の五大陸最高峰登頂者（ヨーロッパ～モンブラン・アフリカ～キリマンジャロ・南米～アコンカグア・ユーラシア～エベレスト・北米～マッキンリー）、グリーンランド3,000km・北極圏12,000km・北極点・グリーンランド縦断の犬橇単独行で世界的にも知られております。今日8月22日、1978年8月22日北極圏犬橇単独行の集大成として、グリーンランド縦断を成し遂げた日です。彼はエスキモ一部落に冬季半年間住み込み犬橇操縦の技術を習得しました。1980年厳冬のエベレスト日本隊を率いて登頂を試みるも事故により撤退する。彼の最終目標は南極点犬橇単独行を目指しておりました、この目標を遂行するため

1882年アルゼンチンの南極基地に待機中でいたが、フォークランド紛争が勃発したためアルゼンチン軍が協力を撤回し断念。厳冬期エベレスト登頂・南極点犬橇単独行と2度の失敗の後1984年2月12日厳冬のマッキンリーに単独登頂に成功するも翌13日に交信が途絶え消息不明となった。単独登頂に成功した日が彼の43歳の誕生日でした。兵庫県豊岡市の出身、明治大学農学部に入山山岳部に属し卒業後はフランスでアルバイトをしながらアルプスを登頂。私にとっては5年上にあたりますが山岳家であり冒険家でもある植村直己の一生は今も心に残っています。彼のサイン入りの著書を何度も読み返しては極地での犬橇単独行に夢を馳せています。中央アジア・パキスタン・バングラデシュ・アフリカ等の国々に心惹かれるのも植村直己の影響かもしれません。9月のモンゴル旅行、今から楽しみにしております。

## 財団・米山表彰



### マルチプルポールハリスフェロー 3名

一條浩孝会員  
橋脇英行会員  
廣澤俊樹会員



### 米山功労者 13名

安齋紀之会員	一條浩孝会員	大橋廣治会員	尾形博幸会員
菅野和宏会員	菅野良二会員	齋藤ミヨ会員	佐藤 誠会員
穴戸清和会員	鈴木恒昭会員	鈴木洋子会員	富田健三郎会員
林 克重会員			

## IAC 年次大会報告 佐藤 正宗さん



福島成蹊高等学校生徒会長の佐藤正宗さんから IAC 年次大会に関する報告がありました。

## IAC 喜多方交流会報告 佐藤 美聖さん



福島成蹊高等学校2年生、IAC 部長の佐藤美聖さんから IAC 喜多方交流会に関する報告がありました。

## 会員スピーチ 菅野 和江 会員



私は、昭和46年9月25日に福島で生まれ、兄と2人兄弟です。親は私がまだ小さい頃に離婚をしてしまいましたが、母が10人兄弟という大家族だった為、その大家族の中で育ちました。母子家庭でしたので、母親は昼夜とも仕事をしていました。

そのため祖父母と過ごす時間が多かったのですが、その祖父母は目が見えない身体障がい者でした。しかし祖父母は目が見えないはずなのに普通の人と同じように家事をしたり縫い物までもしてしまおう、子供から見てもすごい人でした。大家族とはいえ、家系的に女子が少なく、小学生になるころには私も自然と家の事をするのあたりまえとなり、学生時代はあまり自分の好きなことができず我慢することが多い生活をしました。高校を卒業して夢であった美容師になろうと東京の美容室に住み込みで働いていましたが、2年目に母親が大動脈瘤を患い、看病もあり、美容師をあきらめ福島に帰ってきました。母の手術は成功率50%以下という大手術でしたが、成功しました。

ホツとしたもつつかの間、それから看病の毎日でした。子育てをしたことがない私にとって看病の3ヶ月間は地獄のような毎日でした。23歳に結婚し、3人の子供に恵まれ、自分が小さい頃にできなかったスポーツやいろんな事をなんでもやらせてあげて、あつという間の子育てももう少しで終わろうとしています。あとは孫を待つばかりです。

一昨年、母親を自宅で看取り、どこか穴があいてしまっていた時、今の仕事を兄に誘われ、障がい者の就労支援を自分たちで始めることにしました。

福島は東日本大震災以降、障がい者の数が急増しました。障がい者と言っても一括りにはできません。身体・精神難病・様々な障がいを持ちながらも、外に出て仕事ができるように、そしていつかは一般就労ができるようにという方が頑張っているのが、私の職場です。

友達からは、「どうしてそんな大変な仕事をしているの?」と言われますが、私は毎日その方たちに元気をもらっています。彼らには私達の想像を超える脳力と力をもっています。そんな人達の『ちから』をいろんな人知って頂き、一人でも多くの障がい者の方が就労でき、笑顔でいれるように色々な仕事をしてもらい、自分の適性をわかってもらえるようにしていくこと。そしてもう一つは私自身がいろんな人に出会い、いろんな事を学び、その学んだ事を利用して発信して行かなくては行けないと考えています。

私の仕事は就労継続支援以外に、もう一つ障がい者の方の心と生活のケアという役割があります。まだまだ障がい者という偏見が残る世の中ですが、好きで障がい者をもっている方はいないと思います。彼らも普通の生活を望んでいます。そんな人達のためにも、私は今 人との出会いを大切にしています。RCもその一つです。まだ入会して一ヶ月ちょっとでわからないことばかりですが、これから宜しくお願い致します。

## 会員スピーチ 齋藤 弘之 会員



皆様、こんにちは、私は、大栄コールドチェーンの笠さんご紹介で入会させていただきました齋藤弘之です。

カウンセラーの佐久間功さんに隣に付いていただきなんと1ヶ月が経ちました。今回、改めてお時間をいただき自己紹介させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

職業は、OA機器販売で、会社、事務所のパソコンやコピー機等のIT機器と、事務机・イス・書庫などの什器備品をご提案させていただいております。

昨今はネットや通販で すぐに なんでも ポチッと簡単に 買えてしまいますが、弊社はそんなポチッととは簡単には買えない分、ちょっとした差別化や工夫をし続け、

フェイス to フェイスの人間関係で、ネット・通販に負けないよう日々頑張っております。

心がけていることは、お客様の想像・期待を”ちょっとだけ超え続ける”ことです。

ただ、決して大きくは超えないように注意しています。あくまで少し・ちょっとでもいいので、超え続ける事を心がけています。そして嘘をつかない事です。

生まれは、伊達市月館町の月館小学校前にある「わくや」です。入会時のごあいさつで、わくやは「わ」がやの「く」らしに「や」く」立つと言いましたが、本当は、和久の内という場所・地名が先祖の本家で、屋号の屋をつけて和久屋になったそうです。昔々の話ですが、じつは私でわくやは5代目になります。月館という場所がら、たんがらしょって、農家の店のようなものから始まったそうですが、今の時代に合わせて、法人化(有限会社)し、OA機器販売を始めたのが4代目の父です。和久屋も漢字から平仮名表記に変え、ごろ合わせも「わ」がやの「く」らしに「や」く」立つとしました。

年齢は、昭和51年生まれ、42歳です。子供は3人で、中学校2年生の卓球大好き長男と、小学校6年生の長女、一輪車に乗って演技をする、余目一輪車クラブで日本一になりました。最後に小学校4年生の次男は、今はやりのユーチューバーになりたいと言う、ゲームオタクです。

学歴は、地元月館の小学校・中学校から、福島商業高校に入りました。ロータリーメンバーにもオッカナイ諸先輩方がおられますが、当時は男子校で学ランでした。私が卒業した年から男女共学になってしまいましたが、男子校は最高でした。また、山奥の月館町から福島市内の高校に通うと、ちょっとした雨や雪の時は遅刻しても遅刻にならず、逆に良く出て来た・出て来たな!とほめられました。余のおかげで皆勤賞もいただきました。

高校を卒業して実家を継ぐものだと思っておりましたが、商業高校でなぜか国語(文学)の教科にハマってしまい、放課後、国語の先生が月館出身の方ということもあり、特別にマンツーマンで補習をしていただき、郡山にある奥羽大学文学部(日本語日本文学)に指定校推薦にて進学をさせていただきました。

残念ながら今、文学部はなくなってしまいましたが奥羽大学はもともと、歯医者さんの大学で、東北歯科大学と言ひ福島の歯医者さんの先輩が多数おられるそうです。

(\*余談ですが、歌手グループの”GReeeeN”の出身大学でも有名です。)

大学ではより深い文学の歴史を学ぶべく、姉妹校の中国遼寧大学への海外短期留学もさせていただきました。そのような感じで、

裏面へ続く

大学での4年間の勉強は実家の商売とはとんとんかか離れて行きました。  
4年生になり、私の心は、もう実家は継がず、文学を教える学校の先生になりたいと思うようになっておりました。教員になる単位も取り、こっそり教育実習に申し込みましたが、ここで両親にばれてしまい教育実習には行けませんでした。

高校当時、大学進学の場合は、担任先生の説得（後押し）もありましたが、4年後には実家を継ぐ事が条件でしたので文句は言えません。

ただ、先生になれない腹いせに就職活動で、今度は修行と称し東京に行きたいと、わがままを言い、勝手に東京の会社を受けようとしてしまいました。今思えば、若気の至り、遅い反抗期。

親との約束も馬鹿にしており何とも自分勝手な行動だったと後悔し反省しています。

でも、そこでも、父が自社で扱っているコピー機のメーカーで、㈱リコーという一流企業の就職先をもってきました。全国の大きな販売店の2世を育てる枠での採用でしたが、うちのよう田舎の小さな販売店でそんな枠をどうやってもらえたのかは、わかりませんがいろいろと苦労して根回ししてくれたのだと思います。普通にはなかなか入れない会社で、本当に良い条件での採用でした。

リコーの入社式は、大きな体育館で行われました。営業系・技術系合わせて約300人以上。東大・京大卒というビックネームや、外国人もいる雰囲気完全に飲まれながら社会人をスタートしました。ただ、目一杯がつつり飲まれてしまったことで逆に開き直れ、やってやるやろしかない！と奮起出来、新入社員研修終了時には、学歴や人種をこえた同期として仲良くなることができました。

横浜の桜ヶ丘にある社員寮から満員の電車を乗り継ぎ、1時間半かけて銀座の本社ビルに勤務しました。3年間の契約のはずが、8年間に渡りいろいろな部署を経験させていただきました。今じゃNGですが、会社に泊まり込んだり、土日にも会社に行って仕事したりと、上司にも恵まれ、厳しくも楽しく働けており、すでにこの会社に骨をうずめようと思っておりましたが、30才になる時、父からそろそろ戻せ！と、会社に連絡があったそうで、

当時、私は仙台支店に出勤中でしたが、最後の1年間は福島県のいわき営業所にて、外回り営業をさせていただき、わくや福島営業所の開所に合わせて実家を継ぐことになりました。

実家に戻り、早いもので12年目となりました。本場にお陰様でいろんなご縁や、運もあり、会社として存続しております。近々父から代替わりさせていただくことになりました。

そのような中、今回、福島南ロータリーに入会させていただいたことは、これもご縁であると共に、自分自身への良い刺激（プレッシャー）・経験になると思っています。

入ったからには、皆さんのようなロータリアンなることを目標とさせていただきます。

ただ、見よう 見まねではなれないと思います、背中を見て学べ！と突き放さないでいただき、手取り足取り、もうこの際どのようにしていただいても結構ですので、どうかご指導ご鞭撻の程、宜しくお願致します。

以上で、齋藤弘之の、自己紹介を終わります、ご清聴ありがとうございました。

— 理事会情報 — 第3回 H30年8月8日 13:40～ 於サンパレス

1 審議事項

- (1) 9月度プログラム承認について  
一條浩孝幹事より9月度のプログラムについて説明があり審議の結果、原案通りに承認された。

2 報告事項

- (1) 地区・第1分区、その他の行事  
一條浩孝幹事より9月度のプログラムについて説明があり審議の結果、原案通りに承認された。
- (2) 各委員会報告
- ・ロータリー財団委員会 松崎弘明委員長より世界ポリオデーの取組についての提案があり。→提案通りポリオデーに向けて検討する。
  - ・邊見昌喜 会計より2017～2018年度の決算書について報告あり。
  - ・親睦活動委員会 伊藤紘一委員長より家族納涼会の会計報告あり。

3 その他

事務局の負担を軽減するために、例会が休会の場合には事務局も休みとしたい旨、一條幹事より提案があり、全会一致で了承された。

以上、2時45分に吉田会長が閉会を宣した。

— 今後のプログラム —

- ・8月29日(水)成蹊高校奨学生へ奨学金授与式
- ・9月5日(水)移動例会(たまのやこころ齋苑黒岩)
- ・9月12日(水)第2回ガバナー補佐訪問

— 8月29日(水)の例会プログラム —

- |                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| 1. 開会点鐘                               | 7. スマイリングBOX 報告   |
| 2. ロータリーソング                           | 8. 会員増強委員長スピーチ    |
| 3. 四つのテスト唱和                           | 9. 米山記念奨学会委員長スピーチ |
| 4. 来訪者紹介と会長挨拶                         | 10. 各委員会報告        |
| 5. 福島RC会長挨拶                           | ロータリー財団           |
| 6. 福島成蹊高等学校福島南<br>RC奨学金及び奨学生認定<br>書授与 | 米山記念奨学会<br>出席委員会  |
| ・本田哲郎校長先生ご挨拶                          | 11. 閉館点鐘          |
| ・奨学生スピーチ(3人)                          |                   |

— 地区情報・第一分区・関連情報 —

- ・9月1日(土)～9月2日(日)米山梅吉記念館研修旅行
- ・9月1日(土)地区公共イメージチーム・I Tチーム合同セミナー
- ・9月15日(土)地区青少年奉仕委員会セミナー
- ・9月22日(土)ガバナーエレクト事務局開設祝い